

一般社団法人 優良家庭犬普及協会 Q & A

～ Good Citizen Test (GCT : 優良家庭犬認定試験) について ～

1) 優良家庭犬普及協会がつけられたきっかけは、どんなことですか？

協会が設立されたのは1994年(平成6年)ですが、その頃はまだ飼い主自らが愛犬をしつけるしつけ教室がほとんどありませんでした。しつけの方法も分からず、飼い切れなくなってしまう例も多く見受けられました。

そこで、動物行動学に基づき、犬に優しいトレーニング方法を用いて、体罰を与えずに望ましい行動ができた時に、タイミング良く報酬を与えるという、欧米では主流のトレーニング方法を紹介すると共に、愛犬が社会に受け入れられるために成すべき、しつけを始めとする飼い主責任についての啓発活動をしていく団体として協会がつけられました。

2) 優良家庭犬認定試験 (Good Citizen Test / GCT) とは、どんなものですか？

その名の通り、【優良な家庭犬】を目指したテストです。服従訓練(オビディエンス)とは異なり、飼い主と犬の両方が審査されます。例えば、犬が良い状態でも、飼い主が周囲に不快感を与えるような(威圧的、暴力的な)態度や指示を犬に出していると不合格になります。

現在は、家庭犬トレーニングの1つの目標として、テストを利用される方も多くいらっしゃいます。

3) この認定試験は、日本だけで行われているものですか？

各国のトレーニング団体が、グッドシチズンテスト(優良市民テスト)を行っています。国や団体によって項目が異なりますが、従来の服従訓練競技会とは違った、家庭犬としての目的で作られたテストです。他国では、それぞれのトレーニング団体が、飼い主教育の一環としてテスト項目を活用している状況です。日本のテストは、AKC(アメリカンケンネルクラブ)のCGC(ケナインググッドシチズンテスト)を元に改良したものです。日本では靴を脱いで家に入る習慣があるため、犬がおとなしく飼い主に足を拭かせるかどうかなど、日本ならではの項目も追加されています。

試験を統括し、認定制度を設けているのは、日本だけとなります。

4) この認定試験は、犬の種類によって、有利・不利などありますか？

犬種特性によって、幾分得意・不得意はあるかと思いますが、それを飼い主がどのようにコントロールしていくかが重要なので、犬よりも飼い主の性格や人間性によって不利になる可能性はあります。

例えば、テストというと緊張する方などは、人も犬も異なった環境、状況でも、普段通りに行動できるようにトレーニングしておく方が良いですね。

5) この試験に合格することのメリットを教えてください。

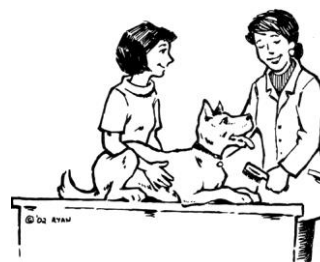
合格するまでの犬との共同作業において、共に過ごす時間、それに比例して深まる絆は何にも変えがたい無形の財産と言えます。合格だけが全てではないので、愛犬との1つのコミュニケーションツールとして受験されても良いでしょう。

合格した方は、動物取扱業登録において、「訓練」と「保管」の動物取扱責任者になることができます。

また、協会では、提携施設を増やしており、認定を受けたペアは認定パスポートを所持することで、提携施設を利用することができたり、特典を受けることができるようになります。

6) 試験に臨むために、飼い主が普段から気をつけることはありますか？

テスト合格のためにトレーニングをしたり、トレーニングをしていった結果、テストを受けてみようかと思われたり、受験を決める理由は様々です。普段の生活の中に、ちょっとしたトレーニングを取り入れるようにしてみると良いでしょう。また、様々な場所で行うこともお勧めします。いつもできることが、テストになるとできなくなる大きな原因は、環境の変化による刺激なのです。



7) 試験を受ける前のトレーニングが「しつけ教室」だと思いますが、しつけ教室に参加できない場合でも、試験を受けることは可能ですか？

もちろん可能です。模擬試験、本試験とも見学ができます(無料)ので、事前研究や、テストをより具体的に理解する場としてもご利用いただけます。合格率は決して高くないのですが(平均約30%)、テストの内容としては特別なことは要求していませんので、もっと多くの方にチャレンジしていただきたいです。

8) 試験に一度で合格できない場合、何度でも挑戦することはできますか？

何度でも挑戦していただけます。全国各地で開催しておりますので、会場を変えての受験も可能です。

9) 試験を受けることができる犬の年齢制限はありますか？ また、試験を受けさせるのに一番適した年齢は何歳くらいですか？

受験する犬の年齢に上限はありません。13歳のボーダーコリーが、初めての受験で合格した例があります。ただ、高齢になると健康状態も様々ですので、飼い主が状況判断して決定する必要があります。

なお、1歳未満の場合、テストは受けられますが、優良家庭犬の認定は受けられません。一番適した年齢というものも無いと言えます。

10) 各地で行われている模擬試験、スペシャルレッスンに参加した方が、合格率は高くなるのでしょうか？

模擬試験、スペシャルレッスンは、飼い主にテストの内容を把握していただくため、そして、飼い主と犬に多くの経験をしていただくために設けています。本試験は全ての項目に合格しなければ、最終合格、そして認定を受けることができません。従って、途中で不合格になった時点で試験は終了となり、残りの項目を受けることが不可能となっています。合格・不合格に関係なく、全ての項目を経験できるのが模擬試験です。飼い主自身のハンドリングやテストの流れ、そして何より、愛犬の状態、状況を知る上では大きな経験となります。この経験を活かしてトレーニングをしていただければ、合格率は確実に高くなります。

11) 【優良家庭犬】に一番大切なのは、何だと思われませんか？

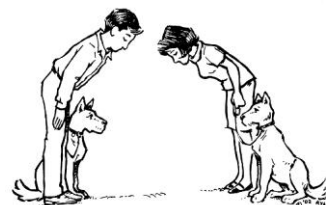
何と言っても、飼い主と犬との信頼関係と絆が大切です。何かしら問題のある犬でも、それを飼い主がきちんと理解、把握し、信頼関係を基本としたコントロールが取れていれば、合格できます。ジャッジが審査する時には、飼い主と犬がいかに「社会で目立たないか」を見ています。目立たずに愛犬の欠点を飼い主が優しくカバーし、社会に溶け込めるペアが増えることを願っています。


12) これから試験を受けようと考えている飼い主の方々に、メッセージをお願いします。

最近のペットブームに伴い、日本では犬を受け入れてくれる施設も増え、犬関連のグッズも豊富になりました。実は海外からも羨ましがられるほど、日本の飼い主と犬にはたくさんの情報と商品があふれています。トレーニングに関しても、日本にいながら最新の情報が得られるようになったのです。

愛犬とのトレーニングを楽しんでいる方や、何かをトライしたいけど、スポーツするほどではない方、是非テストに挑戦してみてください。決して簡単に合格できるものではありませんが、その分、合格した時の喜びは大きなものとなります。

協会では多くの方にテストを知っていただくため、模擬試験やスペシャルレッスンを開催しています。まずは模擬試験から挑戦してみたいかがでしょうか？



	愛犬を社会の一員にするために 一般社団法人 優良家庭犬普及協会
	〒193-0813 東京都八王子市四谷町 1917-36 コーポ中平 201
	電話:042-626-2226 / FAX:042-626-2227
	http://www.cgjcp.net info@cgjcp.net